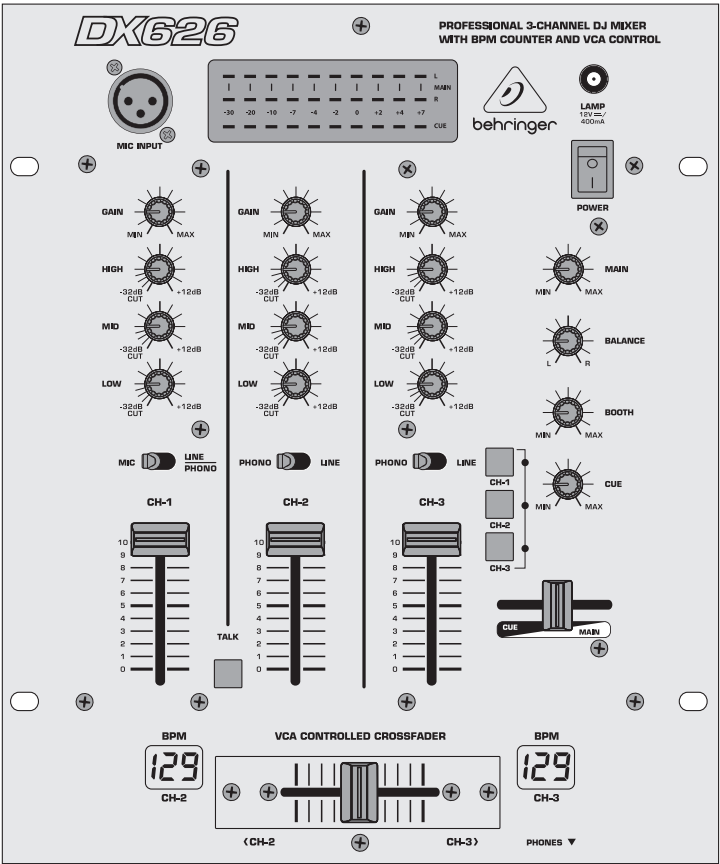




PRO MIXER DX626

Professional 3-Channel DJ Mixer with
BPM Counter and VCA Control

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

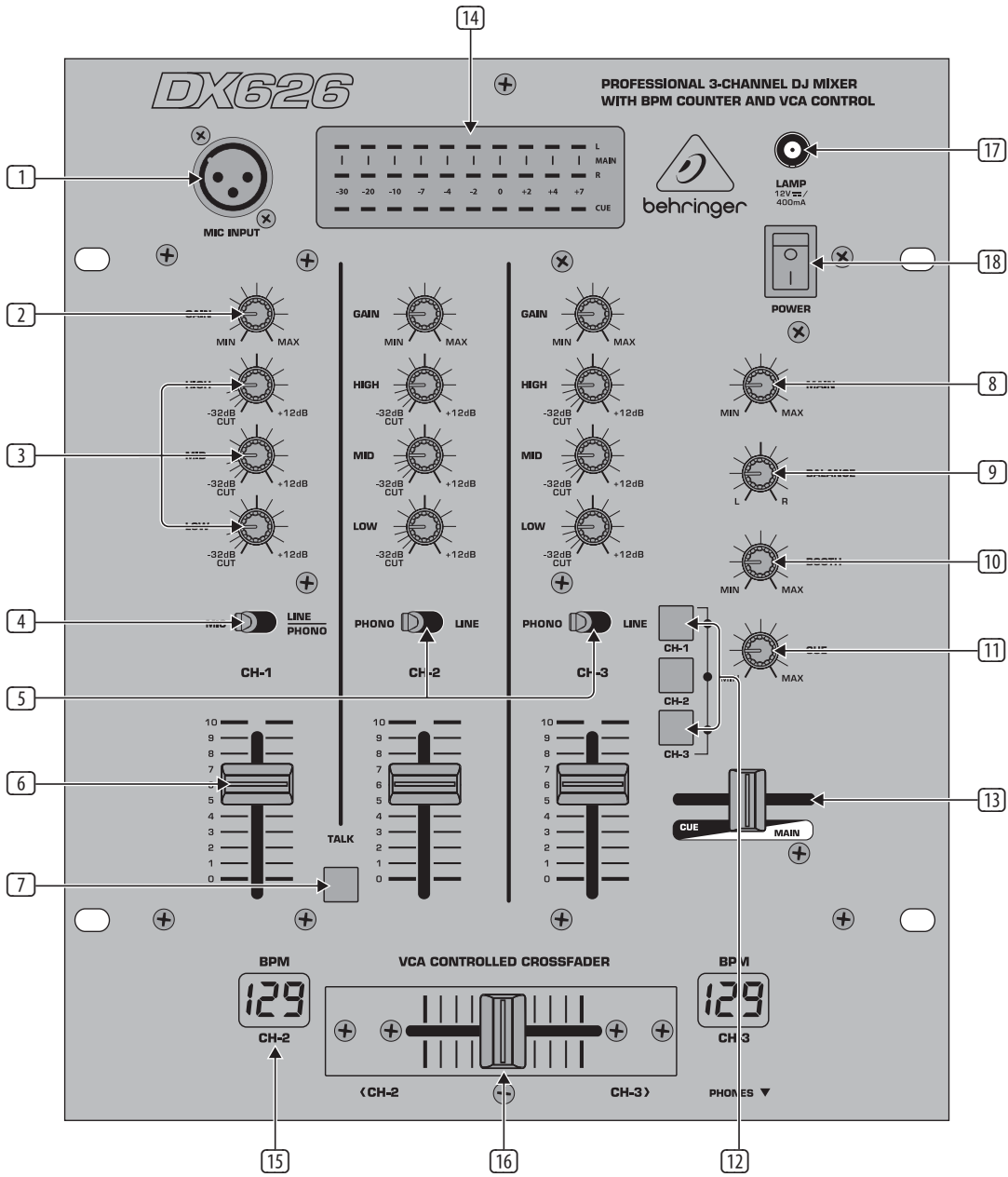
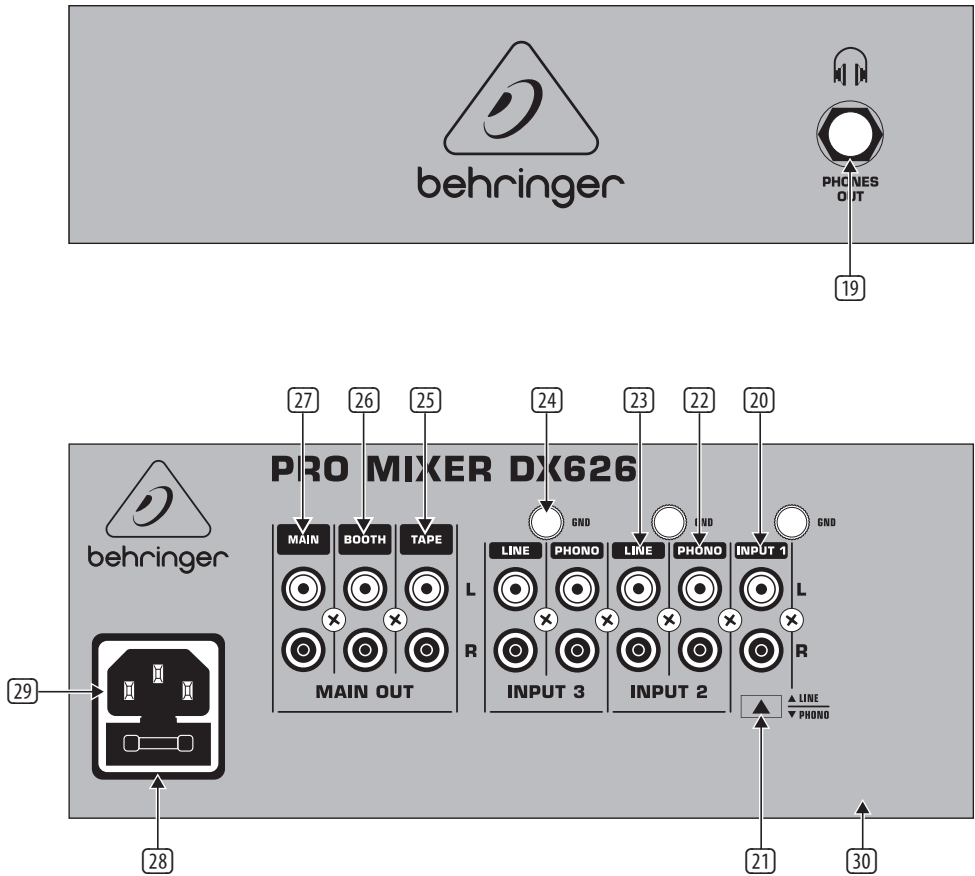
法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

PRO MIXER DX626 コントロール



PRO MIXER DX626 コントロール

コントロール

- ① **MIC INPUT** はマイク用のバランス型フ
ォンジャックです。
- ② **GAIN** コントロールは各チャンネルの
入力信号レベルの設定を行います。
- ③ 各入力チャンネルにはキル特性
(-32 dB - から 12 dB)を有する 3 バンド
EQ (**HIGH/MID/LOW**) がそれぞれ一基ず
つ装備されています。
- ④ **MIC/LINE-PHONO** スイッチはチャンネ
ル 1 内でのマイク信号および Line、
Phono 号の選択に使用します。スイッ
チが LINE もしくは PHONE 入力のどち
らに設定されているかは、リアパネル
部にある PHONE/LINE スイッチの 置に
よって決まります。(21 参照)
- ⑤ チャンネル 2 および 3 の **PHONO/LINE**
スイッチでは入力感度の設定が出来
ます。「Phono」はレコードプレーヤー
との接続用です。「Line」はそれ以外の
音源 (CD プレーヤーや MD プレーヤー
など)の使用時に利用して下さい。
- ⑥ **CHANNEL** フェーダーはチャンネル音
の設定に使用します。
- ⑦ この PRO MIXER DX626 にはトークオー
バー機能が装備されています。この
機能は、マイクを使用して話す際に
TALK キーを押すことで自動的に音楽
の音 を下げ、マイクの声聞きやすく
するためのものです (TALK-LED が点灯
します)。
- ⑧ **MASTER** コントロールは MASTER 出力
の出力音 を設定します。(27 参照)
- ⑨ **BALANCE** コントロールを使用すると、
マスター出力用のステレオイメージを
生成することができます。
- ⑩ **BOOTH** コントロールは BOOTH 出力の
出力音 を設定します。(26 参照)
- ⑪ **CUE** コントロールはヘッドホンシグナ
ルの音 を設定します。(PFL シグナル)
- ⑫ **CH-1、CH-2、CH-3** の各キーはヘッドホ
ン信号用のシグナルソースを設定し
ます。チャンネルをひとつに設定して
も 3 つ同時にモニターすることが可
能です。
- ⑬ **MASTER/CUE** フェーダーではヘッドホン
に入る入力チャンネル信号と MASTER
信号の大きさを設定できます。

- ⑭ ここでは PFL および MASTER 信号の音
コントロールを 10 桁の LED ディスプ
レイで読み取ることが出来ます。
最下部の LED チェーンは PFL 信号
を表示し、上の二つのチェーンは
MASTER 信号を表示します。
- ⑮ PRO MIXER DX626 の BPM カウンター
は 2 つのトラック間のスムーズな切
替を行い、セッションを成功させる
ために威力を発揮する機能です。
このカウンターは選択されているトラ
ックの様々なテンポを BPM (Beats Per
Minute) ビート / 分) 単 で表示するこ
とができます。左側のディスプレイ
ではチャンネル 2 のテンポが表示さ
れ、右側のディスプレイからはチャン
ネル 3 のテンポが表示されます。
- ⑯ **CROSSFADER** はチャンネル 2 と 3 のク
ロスフェードに使用します。
- ⑰ これは市販されている 12 ボルトの
BNC ランプ用コネクタです。
- ⑱ この **POWER** スイッチで DX626 を起動
させます。
- ⑲ **HEADPHONES** コネクタは曲のモニ
ターのためのヘッドホン接続端子
(PFL 信号) です。ヘッドホンは最低イン
ピーダンス 32 Ohm のものを使用し
てください。
- ⑳ チャンネル 1 用の **INPUT 1** 入力です。
これは Phono あるいは Line 入力感度
の切替が出来ます。
- ㉑ 入力チャンネル 1 の **PHONO/LINE** ス
イッチでは、LINE あるいは PHONO 入
力のどちらかを選択することが出
来ます。その際フロントパネルの
MIC/LINE-PHONO スイッチが LINE-PHONO
に設定されていなくてはなりま
せん。(4 参照)
- ㉒ チャンネル 2 と 3 の **PHONO** 入力もレ
コードプレーヤーとの接続用です。
- ㉓ この **LINE** 入力はテーブデッキ、
CD プレーヤー、MD プレーヤーの接続
用などに使用されます。
- ㉔ **GND** コネクタはレコードプレーヤー
のグラウンド接続用に使用します。

- ㉕ **TAPE** 出力によりテーブデッキや DAT
レコーダーなどの録音機器を接続
することが出来ます。MASTER および
BOOTH 出力に対し、この TAPE 出力は
音 が固定されているため、録音機
器の入力音 を設定する必要があります。
- ㉖ この **BOOTH** 出力では外部スピーカー
との接続が可能となります。これは
フロントパネル部の BOOTH コントロ
ールで設定することが出来ます。この
出力を使えば、モニターに接続するこ
とも、エリアにてオーディオを再生す
ることも可能となります。
- ㉗ **MASTER** 出力はアンプとの接続用で、
これは MASTER コントロールで設定が
可能です。
- ㉘ これは電源ケーブル用ソケットです。
あらゆるアンプ回路のインパルス応
答はパワーサプライの電源供給能
力に依存しています。どのミキサー
も Line レベル信号処理用のオペアン
プを数多く搭載しています。
- ㉙ **FUSE HOLDER / VOLTAGE SETTING.**
- ㉚ **SERIAL NUMBER.**

JP

技術仕様

オーディオ入力	
Mic 入力	ゲイン 40 dB 電子バランス入力
Phono 入力 1, 2 および 3	ゲイン 40 dB @ 1 kHz、 アンバランス型入力
Line 入力 1, 2 および 3	ゲイン 0 dB、アンバランス型入力
オーディオ出力	
Master 出力	max. +21 dBu @ +10 dB (Line in)
Booth 出力	max. +21 dBu @ +10 dB (Line in)
Tape 出力	typ. 0 dBu
Phones 出力	typ. 125mW @ 1% THD
イコライザー (+/-8 dB)	
Stereo Low	+12 dB/-32 dB @ 50 Hz
Stereo Mid	+12 dB/-32 dB @ 1.2 kHz
Stereo High	+12 dB/-32 dB @ 10 kHz
Mic Low	+12 dB/-32 dB @ 50 Hz
Mic Mid	+12 dB/-32 dB @ 1.2 kHz
Mic High	+12 dB/-32 dB @ 10 kHz
トークオーバーキー (MIC)	
-16 dB	
ランプ (BNC)	
12 V / 400 mA	
ー 要綱	
S/N 比	> 87 dB (Line)
クロストーク	> 70 dB
歪み率 (THD)	< 0.05%
周波数帯域	20 Hz - 20 kHz
ゲイン調整範囲	-16 dB - +6 dB
電源供給	
電源電圧	
米国 / カナダ	120 V~, 60 Hz
英国 / オーストラリア	240 V~, 50 Hz
ヨーロッパ	230 V~, 50 Hz
ー 輸出用モデル	100 - 120 V~, 200 - 240 V~, 50 - 60 Hz
消費電力	最大 15 W
ヒューズ	100 - 120 V ~: T 500 mA H 200 - 240 V ~: T 315 mA H
電源アダプター	標準 IEC コネクター
外径寸法 / 重量	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 91 x 254 x 305 mm (3,5 x 10 x 12")
重量	約 2.5 kg

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1. **ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. **故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. **電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You